

別海町の自然や歴史を再発見！

「ふるさと講座」のご案内



別海町には、ラムサール条約登録湿地の野付半島や風蓮湖、古代から江戸時代の遺跡が町内各地に所在するなど、すばらしい自然や歴史があります。

今年度の「ふるさと講座」は、自然と歴史をテーマにした2講座を開設します。私たちの暮す別海町の自然や歴史を学んでみませんか。



自然系（四季の野鳥観察）

- 第1回目
と き 平成19年6月24日（日）午前9時～12時
ところ 野付半島（集合場所 野付半島ネイチャーセンター）
内 容 タンチョウ・アオサギ・アカアシシギの観察
講 師 別海町立上西春別中学校 教諭 藤井薫氏
- 第2回目
と き 平成19年7月23日（月）午後6時～9時
ところ 奥行臼駅通（集合場所 奥行臼駅通）
内 容 コウモリの観察（※コウモリは哺乳類です。）
講 師 根室市歴史と自然の資料館 主任学芸員 近藤憲久氏
- 第3回目
と き 平成19年11月4日（日）午前9時～12時
ところ 野付半島（集合場所 野付半島ネイチャーセンター）
内 容 カモなど渡り鳥の観察
講 師 別海町立上西春別中学校 教諭 藤井薫氏
- 第4回目
と き 平成20年2月16（土）午前9時～12時
ところ 風蓮湖（集合場所 郷土資料館等）
内 容 オジロワシ・オオワシの観察
講 師 別海町郷土研究会 会長 渡辺昇氏

歴史系（野付通行屋跡遺跡）

発掘調査の成果から

- 第1回目
と き 平成19年8月26日（日）午前10時～12時
ところ 郷土資料館
内 容 野付通行屋の歴史的背景と発掘調査の成果
講 師 別海町郷土資料館 主任 石渡一人
- 第2回目
と き 平成19年9月30日（日）午前9時～12時
ところ 野付半島（集合場所 野付半島ネイチャーセンター）
内 容 遺跡見学—野付通行屋跡遺跡・野付番屋跡遺跡
講 師 別海町郷土資料館 主任 石渡一人

※歴史系については、4月号（93号）でお知らせした内容が若干変更になっておりますので、ご了承ください。

申込み方法など

自然系、歴史系どちらも連続受講が望ましいのですが、希望の講座のみの受講も可能です。

- ◎受付開始 平成19年5月1日（火）
- ◎定 員 自然系 20名程度
歴史系 20名程度
- ◎申込み方法 電話・FAX・メールのいずれかで、希望する講座と氏名・電話番号をお知らせください。
連絡先は裏面をご覧ください。
- ◎その他 申込みいただいた方には、受講日1週間前に持ち物、服装などのご連絡をさせていただきます。

江戸時代の食 1

野付通行屋で、何が食べられていたのか？

今回の発掘調査で、貝塚が大小 8 ヶ所発見されました。貝塚とは過去の人々が、食料とした貝の殻や動物の骨、不要な器具などを捨てたものが堆積して出来たものです。貝塚中の自然遺物からは自然環境を知ることが出来るとともに人工遺物の層的研究の重要な手がかりとなります。

発掘調査では、貝塚の位置などを記録に取り、微細な骨などを検出するために貝層を土壌ごと採取しました。その量は土嚢袋にして 169 袋となり、郷土資料館へ運び、水洗を行いました。その後、ピンセットなどで選別を行い、国立歴史民俗博物館の西本豊弘氏に同定を依頼しました。確認された動物は表 1 の通りとなりました。

内容はすべて現在この地域で捕獲されるものであり、食用として有用な種類であります。貝類では、アサリが多く、ホタテ、ウバガイ（ホッキ）・ヒメエソボラ（ツブ）となります。魚類では、サケ・マス類、カジカ、カレイ、ニシンなど私たちの食卓に馴染みのあるものが大部分を占めます。

箱館奉行下野守 竹内保徳が野付通行屋で食べたお膳

安政 6 年（1859）9 月 4 日、蝦夷地巡回を行っていた箱館奉行竹内保徳が野付通行屋に泊まった際の料理の品書きが、加賀家文書に書かれています。

●夕食	小皿－小瓜どぶ漬 汁－むきあさり・みじんねぎ 皿－ほたて貝の大根なます 深皿－木瓜のもみけし 平皿－いり卵・なめ茸・ささげ 麦のご飯	●朝食	小皿－大根水煮 汁－大角豆 皿－さけ塩引 深皿－大根ごまあえ 平皿－ふろふき大根 ねぎみそ 麦のご飯
-----	---	-----	--

箱館奉行用の特別な料理であったと思われますが、当地の産物である「あさり」、「ほたて」などが含まれ、当時の食生活の一端が文献史料と遺跡から出土した遺物により伺える結果となりました。

今回は、鳥類・哺乳類について、ご紹介したいと思います。

※瓜・大根・木瓜
ささげ・麦は、
加賀伝蔵が野付
で栽培したもの
です。

郷土資料館・加賀家文書館のお知らせ（5月）

- 休館日 3日・4日・5日・6日・14日・19日
20日・28日
- 開館時間 午前9時～午後5時（入館は午後4時30分まで）
- 観覧料 一般個人 300円 一般団体（10名以上）240円
高校生以下は無料となります。

表 1 出土した動物	
貝類	エソタマキビガイ ヒメエソボラ（ツブ） エソフネガイ ホタテガイ マガキ オオイシカゲガイ アサリ ウバガイ（ホッキ） オオノガイ
魚類	チョウザメ ニシン ウグイ類 サケ・マス類 イトウ コマイ カジカ類 カレイ類 フグ類
鳥類	ハシブトカラス オオワシ シマフクロウ ガンカモ類 アホウドリ アビ
哺乳類	ニワトリ ネズミ類 エソヒグマ イヌ キタキツネ トド ゼニガタアザラシ？ ゴマフアザラシ ワモンアザラシ アザラシ類 エソシカ イルカ類 クジラ類 ウシ

別海町郷土資料館だより No.94

発行日 平成19年5月1日
発行所 別海町郷土資料館
別海町別海宮舞町30番地
電話 0153-75-0802（FAX 兼）
e-mail kyoudo@betsukai.jp

編集後記

野付通行屋跡遺跡の発掘調査報告書が刊行されました。図書館でご覧になることが出来ますので、興味のある方は是非お読み下さい。自分で言うのもなんですが、報告書は、専門用語が多いです。この「たより」や「ふるさと講座」でもっとわかりやすくご紹介していきますので、よろしく願います。（石渡一人）